

道路陥没発生防止対策

東京では、路面下に管路などの埋設物が輻輳してします。埋設物の老朽化や施工時の埋戻し不良等様々な要因から、路面下に空洞が発生する場合があります。路面下に空洞が存在すると、道路陥没を引き起こす恐れがあることから、埋設物の多い路線等を対象として路面下空洞調査を実施し、大規模な空洞を発見した場合は復旧工事を行い、道路陥没の発生防止に努めています。



【空洞探査車】



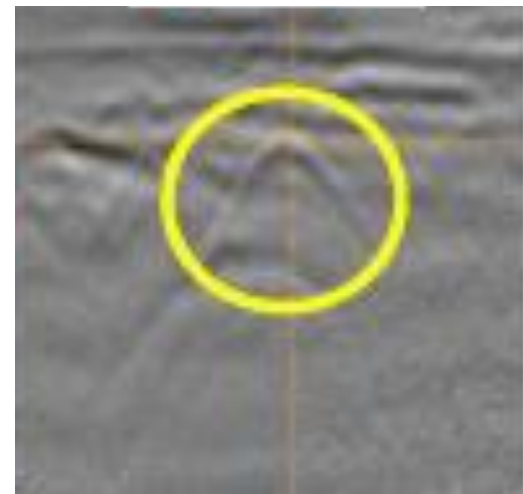
【発見空洞】

路面下空洞調査

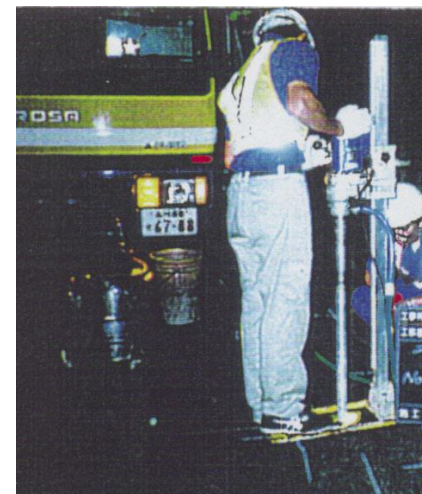
一次調査（レーダー調査）
地中レーダーを搭載した専用の空洞探査車から電磁波を地中に放射し、反射波をとらえて路面下の空洞を調査



レーダー調査



二次調査（スコープ調査）
レーダー調査により異常が確認された場合、小型カメラを使って空洞の状況を確認



スコープ調査



空洞復旧

路面下空洞発見時には、原因調査及び緊急工事による復旧措置を実施



発見された空洞の開削調査



発見された空洞の復旧